

月刊 **TENGA** 2020
1.7 第二十号

SEX AROUND
THE
WORLD

性で読み解くお国柄

あけ
おめ^号

月刊TENGA web版はこちら

<https://www.tenga.co.jp/topics/category/g-tenga/>



在日外国人に聞いたJapan Sexual Culture 世界はどう見る？日本の性

2020年は訪日外国人が増えると予想されるアニバーサリーイヤー。
そんな今だからこそ知りたい！日本を含む世界9カ国と地域それぞれに取ったアンケートや座談会をもとに、
世界の性文化や、海外から見た日本の性について、その差を調査しました。

CHAPTER

1

マスターベーション世界調査報告

TENGAが実施した「2019年マスターベーション世界調査 (TENGA 2019 Self-Pleasure Report)」の結果をご紹介します。
日本と外国で、性に対するどんな意識差があったのでしょうか？さらに今回は、海外出身で日本在住の皆さんに、
調査結果について感想を聞いてみました。

ご協力いただいた
皆さん

Gさん
女性 スペイン

Lさん
男性 中国

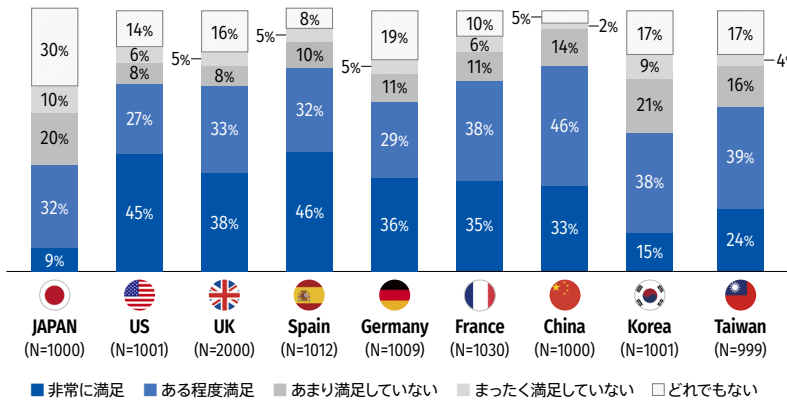
Tさん
女性 カナダ

Jさん
男性 イギリス

Cさん
男性 アメリカ

Q. パートナーのSEXに対する満足度は？

In the last year, how satisfied have you been with your partner's sexual performance?



欧米諸国と中国は「満足している」割合が約70%と高い傾向があるのに比べ、台湾、韓国、日本などアジア圏を中心に低めの傾向が。特に日本は一番低い約40%となっています。

日本人はAVや漫画など性に関するカルチャーが豊富で色々見ているから、期待と現実にギャップが出ちゃうのかも。



スペインは、満足するために「こんな風にしてほしい」ってオープンにパートナーと話し合う人が多いかな。



Q. 最も快いと感じるのはどれ？

Please rank how pleasurable each of the following activities are...

「SEXをする」「スポーツやエクササイズをする」「マッサージをする」などの14項目を、快いと感じる順にランク付けしていただきました。

アメリカは予想通り1位がSEXで最下位がスポーツだね。でも日本は体育の授業やランニング文化も盛んなのにスポーツが最下位は不思議！

日本は予想通り、食事が大事なんだね！

中国、最下位「動物と遊ぶ」ってどう言うこと!?(笑)

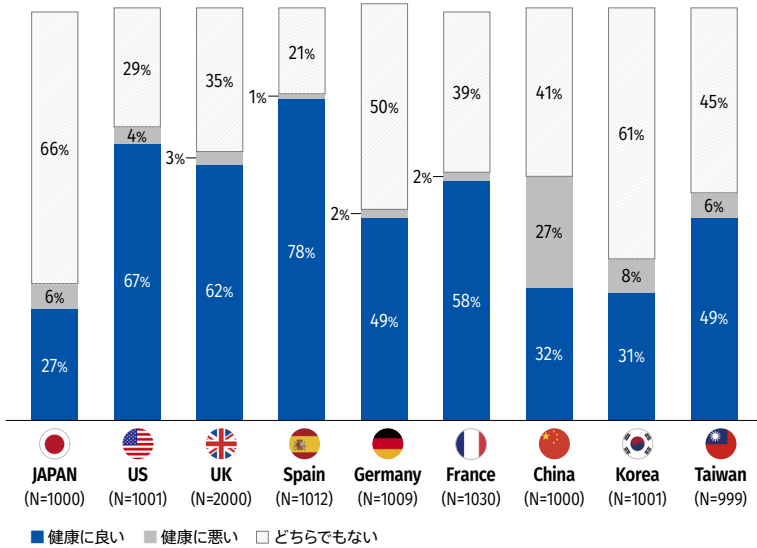
	JAPAN	US	UK	Spain	Germany	France	China	Korea	Taiwan
SEXをする	5	1	1	1	2	1	1	1	3
愛している人と共に時間を過ごす	2	2	2	3	3	2	2	3	1
マスターベーションをする	7	3	4	4	10	8	4	4	5
人を抱きしめる	3	4	3	2	1	4	3	2	2
シャワーやお風呂に入る	8	5	8	6	7	7	8	6	6
笑う	4	6	5	5	4	3	9	10	7
美味しいものを食べる	1	7	6	7	5	5	5	5	4
マッサージをする	10	8	9	8	8	6	7	7	9
美しい場所に行く	9	9	7	10	6	9	6	8	8
きれいなシーツのベッドに横たわる	12	10	10	11	11	10	11	11	10
のどの渴きをいやす	6	11	11	9	9	12	12	9	11
動物と遊ぶ	13	12	12	13	13	14	14	14	13
清潔な服に袖を通す	11	13	13	12	12	11	10	12	12
スポーツやエクササイズをする	14	14	14	14	14	13	13	13	14

(n=772) (n=843) (n=1811) (n=940) (n=899) (n=849) (n=728) (n=770) (n=805)

Q. マスターベーションは健康に良いと思う? 悪いと思う?

Would you say that masturbation is healthy?

欧米を中心に「良い」が高い傾向はあるものの、パーセンテージは国によって様々でした。



アメリカでは、マスターベーション=ひとりぼっちでかっこ悪い、といったイメージがあるからスペインほどは高くないのかな。



中国だとそういうことをし過ぎるとよくない、という昔からの教えがありますね。



調査結果のとおり、スペインでは実際に、健康のために良いというイメージが一般的だと思います。一方で、『ニキビができる』なんて言われることも。他には『マスターベーションをすると手から毛が生えてくる』という言い伝えもあります(笑)



えー!?



一同

調査概要

TENGA Global Self-Pleasure Report 2019

調査主体: TENGGA / 調査期間: 2019年3月~4月 / 調査方法: インターネット調査 / 調査機関: PSB

調査対象

	US	UK	Germany	France	Spain	Japan	China	Taiwan	Korea
	N=1001	N=2000	N=1009	N=1030	N=1012	N=1001	N=1000	N=1000	N=1001
Male	49%	50%	50%	50%	51%	51%	51%	50%	53%
Female	51%	50%	50%	50%	49%	49%	49%	50%	47%

調査対象者の詳細は https://www.multivu.com/players/English/8528451-tenga-unveils-2019-self-pleasure-report/docs/Full2019Report_1557144644685-1929663640.pdf の最終ページをご覧ください。

※構成比は小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とならない場合があります。

CHAPTER

2

日本の性は海外からどう見えた? 座談会を取材!

海外から日本に来てどんなことを感じたの? アメリカ・スペイン・中国・イギリス・カナダ出身の皆さんにお集まりいただき、座談会を開催しました!



日本に来て驚いたこと、満場一致で「ラブホ」!



日本に来てまず驚いたのは、ラブホテルがたくさんあること。



私も! SEXをするための施設って他の国ではあまり見ないよね。

アメリカでもモーテルをSEXに使う人はいるけど、それが目的で作られているわけじゃないもんね。



欧米ではSEXする場所は自宅が一般的。カップルがホテルに泊まるとしたら、記念日にリゾートで優雅に過ごす…みたいなイメージが強いです。



誰もが認める「SEXをするための場所」があるのは、性を肯定している感じがすごく良いなと思います。



日本は住宅の壁が薄いし、同居家族のことも考慮に入ると、そういう場所が必要なのかもね。

SEXやマスターベーション、友達と話す?



スペイン男性はSEXについては、盛りぎみに自慢することが多いかな(笑)。マスターベーションについては、わざわざ口にする人は少ない印象ですね。特に男性は「SEXするパートナーがないの?」って思われちゃうから。



カナダの女性同士は悩みを共有し合うことが多い気がします。

国だけでなく、世代間でもずいぶん差がありそうですね。



それはある! 僕らミレニアル世代(1981年~1996年生まれ)は、子供の頃にAIDSがすぐ話題になったから、「性についてきちんと話さなきゃ」って意識が強いんだ。それより上の世代は保守的であまり話さないし、僕らより下のZ世代(1990年代後半~2000年代生まれ)はまだ若くSEXの話に慣れてないと思う。



ちなみに、皆さんはTENGGAとどこで出会ったの?

僕はアメリカ留学中、サンフランシスコのグッズショップで出会いました。



私はバルセロナに住んでいたとき。デザインが面白くて目を引いたので覚えています。

僕は日本に来てから、友達に「EGG 6COLORS PACKAGE」を1個分けてもらったのが最初かな。



かなり前なので定かじゃないけど、初めて知ったのはインターネットかドン・キホーテで見かけたときのはず。



私は大阪で、当時の彼氏と車に乗っていたとき。「TENGGAあります」と書いてあるノボリを見かけて、彼氏に「TENGGAって何?」と聞いたら「ん? うーん」みたいな反応が返ってきて不思議だった。2年後くらいに詳しく知って「なるほど!」と思いました(笑)。

Global Manager's Perspective

お国柄を踏まえた、世界に向けたTENGGAのPR

今年で発売15周年を迎えるTENGGAは、現在世界69の国と地域で販売されていますが、国ごとにTENGGAを受け入れてもらうためにどんなPRを行ってきたのか、TENGGA広報宣伝部のグローバルマネージャーがその一部をご紹介します。



株式会社TENGGA 広報宣伝部 部長
エドワード・マークリュー

米国で驚かれた「マスターベーションする男性は9割超」

マスターベーションの捉え方について、日本と大きく違うのは欧米諸国です。

日本では男性が友達同士で話すことは普通で、面白い話題の一つですが、欧米では「モテない人がする行動」として自虐的な文脈で語られることがほとんどでした。

そこで2016年に行ったのがアメリカでの「性事情調査」。話題にしないで、9割以上の方がマスターベーションを行っていることがわかりました。日本では当たり前にも聞こえるかもしれませんが、当時は具体的な数字がなかったため、初の調査として驚きの結果だったようです。

「男らしさ」からの解放が性的満足度を上げる?

また、2018年に実施した「Feel More」キャンペーンの背景にも文化の違いを感じました。私たちの調査では、マスターベーションのタブー視も含む「男らしくあれ」というプレッシャーに生きづらさを感じている男性が大半だとわかりました。感情を素直に表現する男性の方が、パートナーとの性的満足度やアダルトグッズ使用率が高いという結果も出ました。

このように、欧米ではマスターベーションに対する男性のイメージを覆すようなPRを行っています。

編集後記

世界の性についての特集、いかがでしたか? 私が面白いと思ったのは「最も快いと感じる行動」で、他の国は「SEX」や「愛し合う」がほとんどなのに、日本は「美味しいご飯を食べる」と答えているところでした。しかも座

談会では満場一致で「日本はご飯だね」と予想! そんなに食にこだわる国だと思われているのか…。食も性も大事な欲求の一つ。美味しいものを食べて元気になり、コミュニケーションも積極的になりたいものです。



広報宣伝部
本井はる

NEXT ISSUE

月刊 TENGGA

2月上旬 配信予定

▶ 月刊TENGGA 第21号

映画のエロティシズム(仮)

月刊 TENGGA は、TENGGAの製品やニュースだけでなく、性にまつわる様々な情報を定期的に提供するニュースレターです。

“面白おかしさ”を大切にしつつも、性と真正面から向き合い、真面目に作り続けてきたTENGGAだからこそ発信できる、硬軟様々な情報を届けます。様々な文献や歴史、そして人物、市場情報など多様なリサーチと開発を継続し、皆様により意義と価値のある情報を提供できればと考えています。性に関するストレスが少しでも軽減されたり、親しい誰かに相談するきっかけを作ったりと、性の悩みを和らげられる社会づくりへの貢献をめざします。

月刊TENGGA バックナンバー

<https://www.tenga.co.jp/topics/category/g-tenga/>

TENGGA 公式オンラインストア

<http://store.tenga.co.jp/>

TENGGA コーポレートサイト

<https://tenga-group.com>

画像ダウンロード用URL

https://drive.google.com/drive/folders/1EngzJ5FJ5XEuZRUYwCffl1_IDI0T4AT?usp=sharing

News from TENGGA

カップル向けバイブレーター「SVシリーズ」より新作登場! ふたりの夜をより刺激的に。「TENGGA SVS」発売

2019年12月20日(金)より、ふたりの夜をより深く、より刺激的なものに導いてくれる「Smart Vibeシリーズ」のNEWモデル「TENGGA SVS (Smart Vibe Stick)」を発売いたしました。人気のTENGGA SVRの振動力はそのままに、角度がつけられるスティックバイブレーター。点でも面でも様々な快感を2人で探求することができます。



詳細はこちら↓

https://store.tenga.co.jp/category/vibrator_svs

中学生・高校生向けの性教育サイト「セイシル」を、TENGGAヘルスケアがオープン

2019年12月18日(水)より、中学生・高校生向けの性教育サイト「セイシル」をオープンいたしました。第二性徴を迎え、心も体も大人に移りゆく中高生に向けて、幅広い性の知識や自分らしい生き方を見つけるためのヒントを提供します。

若者の悩みを募集し、泌尿器科医や産婦人科医などの専門家たちが、それぞれの立場から相談に答えます。セイシルURL: <http://seicil.com/>



詳細はこちら↓

<https://www.value-press.com/pressrelease/233162>



お問い合わせ先

TENGGA 広報宣伝部
TEL: 03-5418-5590
MAIL: motoi@tenga.co.jp
担当: 本井

月刊TENGGAに関するお問い合わせ先

月刊TENGGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内(東京都渋谷区宇田川町36-22 ノア渋谷パートII 2F)
TEL: 03-6416-3268 / FAX: 03-6416-3269
MAIL: tengapr@publicgood.co.jp
担当: 森下・山内・渡邊